私が探せる範囲では
治してくれる人が
みつからなくて。
だんだんこっちに
来られなくなってる
みたいだし、
あなたしかいないの。

おねがい。
でも、それって…
……っていう夢を
ここ何日か見ててね、
どうしようかなぁって。

でも、それって
OKしちゃったんでしょ？
うん。
公園内
案内地
G-8B

じゃあ、前に私が同じような夢を
見たときに言ってたみたいに、
はりきっちゃえば？
あ～ん
仕返しが～…
あ、あのときは…
ごめんなさい。

そうじゃなくて、
ちゃんとしてあげたら
もう見なくなるんじゃ
ないかなって。
私のときもそうだったし。
じゃ、私はここで。
うん。

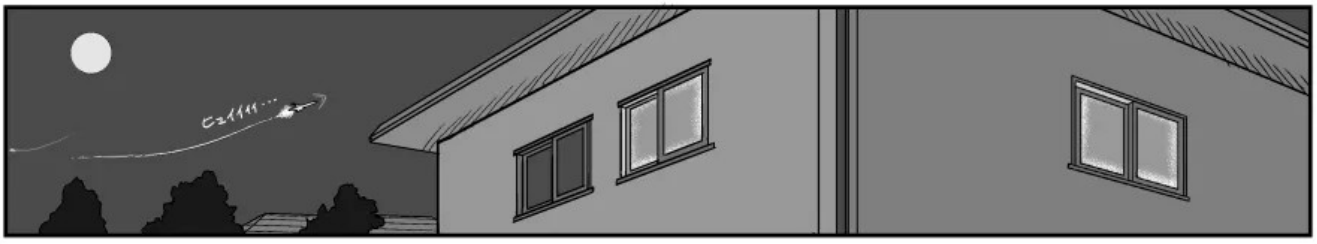
それがホントに
あるのか解からないけど、
もしあったらがんばってね。
うん、
あったらね。
またね～
また行こ～ね

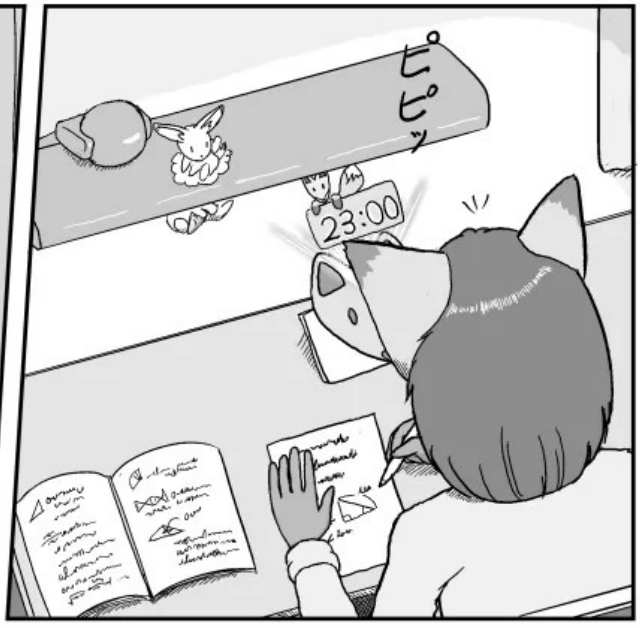
実は
今夜なのよね……。
ふぅ…

夜中の♡

ねこたまご

Ripple Fox





もう約束の時間だし、
イェリンちゃん
来るはずなのに……。

やっぱり、
そうよねぇ。
スッ…

なんとなく準備しちゃったけど、
夢の中の話だもんね。
OFF!
ピッ

でも、すごくホントの事っぽい
感じがしたけどなあ。

今日ずっと意識しちゃってたから
なんだか変な感じが。
どうしよ……。
パタ…
すっ

ちょっとだけ。
もそ…

…弥ちゃん……

麻弥ちゃん、起きて。

……え？

麻弥ちゃん起きてってば。
……何してるのかな、これ？

ばっ

い、いらっしゃい、イエリンちゃん。

あ、わかっちゃった

わあ

みっ見られたあっ！

ばっ

さっ

あ……
もしかして。

うん、約束どおりエルノを連れてきたの。

やあ

へぇ、これがイエリンちゃんの旦那さんかぁ。
はじめまして、よろしくね。

わあ
もようが違うのね

よろしく

ねえ、背中の方とか
模様がイエリンちゃんと
どう違うのか見せて。
いいよ～
あ

そうか、麻弥ちゃんから
いい香りしてたんだ。

うん、お母さんのシャンプー
使わせてもらっちゃったの。
あ～

そういえば、イエリンちゃんには
聞いたことなかったんだけど、
あなたたちの世界のこと
なにか聞かせて。
うん

ねえ、いい？
うん。
ぱたっ
このくらいの
木の実でね

イェリン…？
きゅ…

ゴメ!?
わあ
しゅっ

な、何してるんだよ！
何って、
決まってるでしょ。
どんな花なのかなあ

ここに来る前に話したでしょ。
まさか、どんな子か会いに来るだけの
つもりだったの？
きゅむっ!
着る前の形に～
…あっ!

その子にはもう話をしてあるし、
お願いも聞き入れてもらえてるのよ。

だからっていきなり……。
それとね。
すっ

さっき、あなたのことを見た上で
決めてもらったのよ。
やっぱりイヤって言われたら、
夢だったことにして
帰るつもりだったの。
え…？

じゃあ、麻弥ちゃん、
わたしは一旦帰るけど、
私が持ってきた布やかごを使ってね。
うん。
なあ、イエリン。
それから、後からでもいいから
このジュースは必ず飲んでね。
身体の栄養足りなくなっちゃうと
いけないから。
ふわ
イエリン？
フォウウ…ン
エルノ、あのね。
もし、あなたが頑張ってみて
それでダメだったら
わたしもあきらめるけど……。
せっかく聞き入れてもらえたのに、
その子に何もせず帰ってきたりしたら
絶対に許さないから！
それじゃ、頑張ってね。

じゃあ、さっそく…ね。
いや、その……。

き、君達とどうしたら良いのか
解らなくてさ。
うそでしょぉ？
私でも知ってるよ？

ほら、身体の大きさは違うけど、
イェリンちゃんと大体同じでしょ？
イェリンちゃんに見てもらったの。
えと…そ、
そうだね。

だから、それでイェリンちゃんに
するのと同じ事を
私にもするだけでしょ。
大きくなったー♡
あ！

隠さなくてもいいのに～。
つい……。

じゃあ、ためしに私から
してみようか。
え？
きゅっ
最初はね……。
んっ。
ちゅ
それとここをね、
こんなふうに……。
でも今はいいけど。
うん、それは
何となく解る。
来たときを見た
アレでしょ。
そしたら、こうして……。
あ、ちょっと。
くちゅ…
あれ？
ちゃんと入らない？
待って、入ってる。
入ってるから、
ちょっと、ま……。
くい
い…
っ
ぬちゅ
ぬちゅ…
……っ。
え？
ぷるっ…
ピュア
ピュ…

あれ？
もしかして……。

あ…

ご、ごめんね。
その……。

ううん、ちゃんと
やれてたらいいの。

ちがうの ちがうの

なんか ガックリ いるみたい

それに、上手くいってたら
すぐに大きくなってくるから
解るって言ってたし。

へえ。

イェリンちゃんが。

う～ん、もうそろそろ
大きくなってきてもいいのに
まだなのかなあ。

あれぇ？

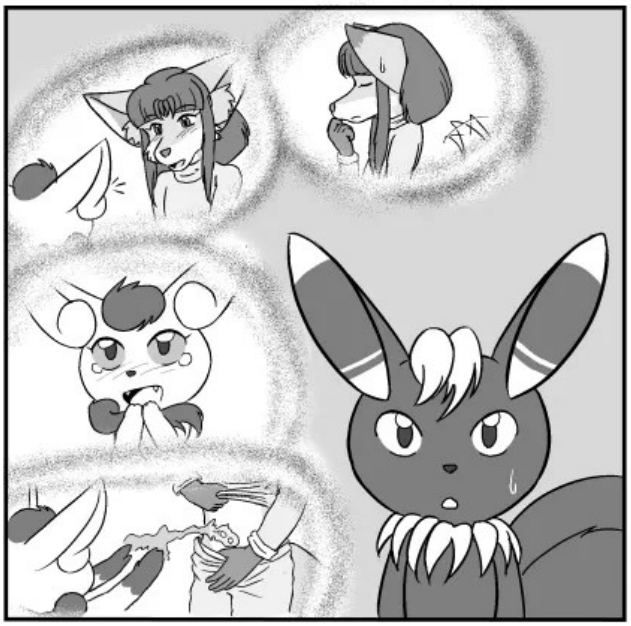
しばらく 待ってるよね

よし、じゃあもう一回
やってみよ、ね。

今度はあぇ～。

え、あの。

ちょっと待って。
やっぱりダメだよ。
種族は違うし、
もしうまくいっても
麻弥ちゃんとの…
もしかして、イエリンちゃんから
ちゃんと聞いてないの？
え？
何か変だと
思ったら。
私は手伝うだけで、
ちゃんとイエリンちゃんのよ。
いや、だってイエリンは
君とって言ってたけど。
ねえ、記憶読んだりできる？
その方が早いかも。
出来るけど、いいの？
うん。
じゃあ、その時の事を
思い出して。
ん。



ね、解ったでしょ？
ちゃんとイェリンちゃんのよ。
だからあの時
つらそうにおなかを
押えて…。

ニャオニャ、ニャオニャニャウニャ
ニャオニャオニャ……ア？
あ…

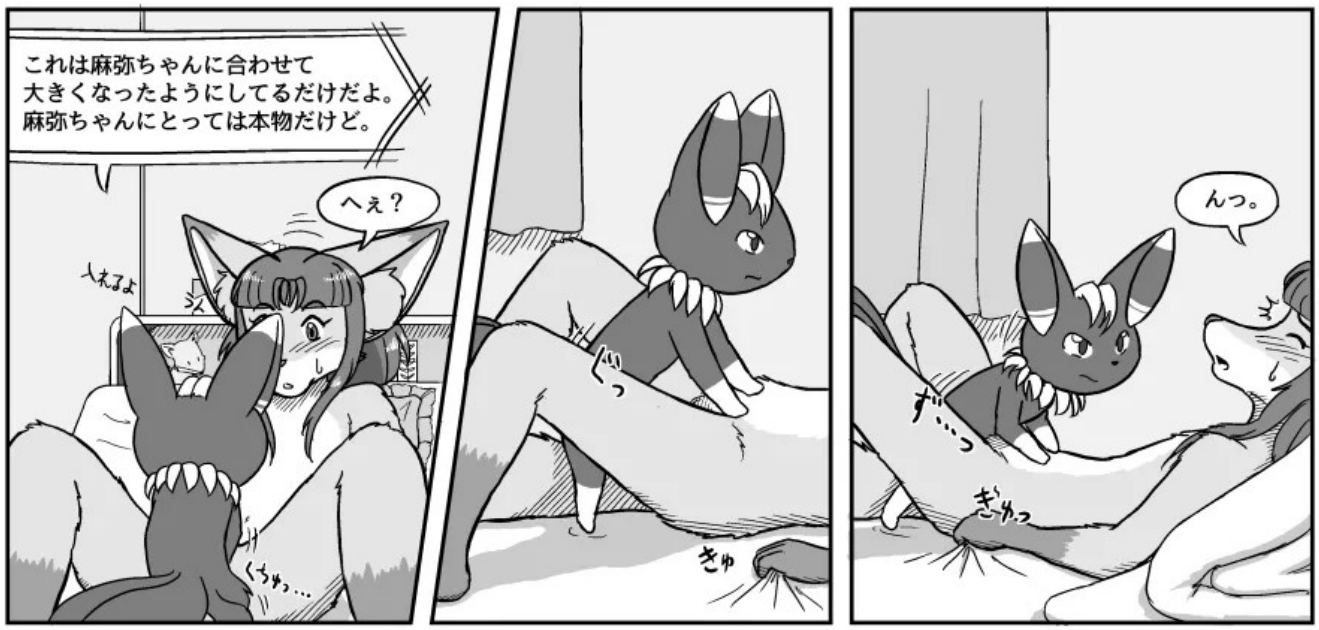
え、なに？
なんて言ったの？
テレパシー外れた。
おちつけ、
おちつけ…。
…よし。
解らなくなっちゃった。

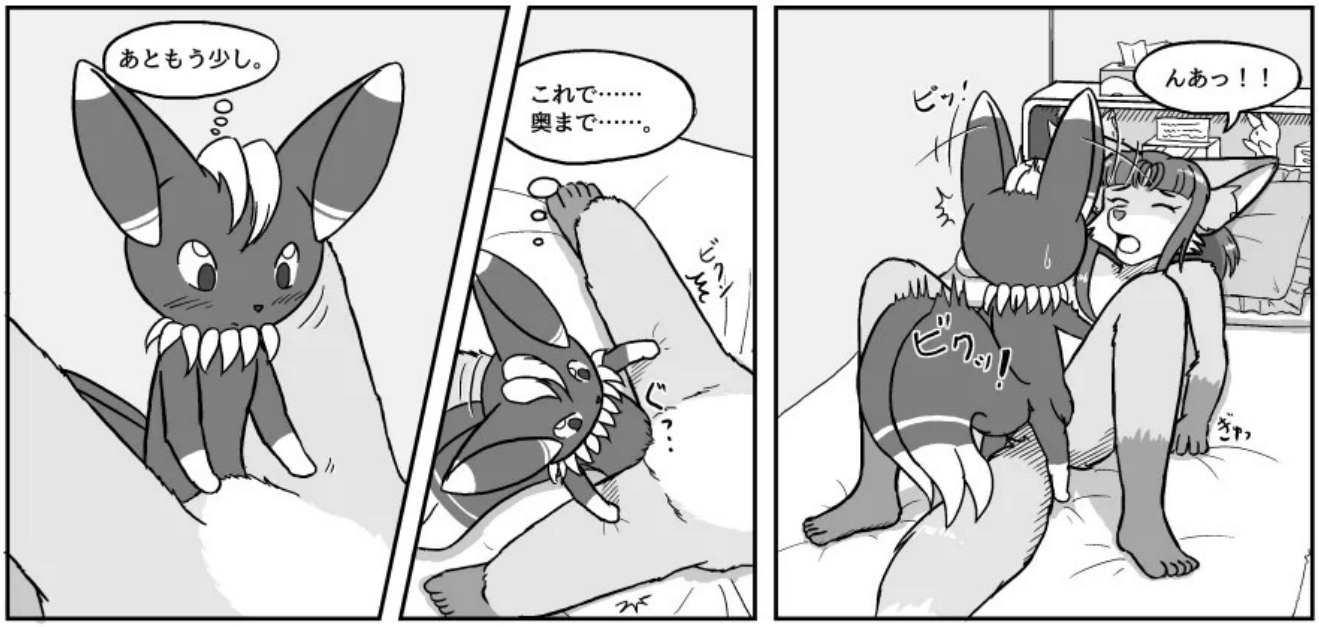
ボクからやる、ちゃんとやる。
だから麻弥ちゃん、
ボクからもお願い。
うん。

じゃ、ボクにまかせて。
うん。
そっ
ちゅ
すっ
んっ…… ん……
ポウッ
んっ！？
ピッ
ピッ
くいっ
ピクン！

んふ…… んっ、ん！
ピクッ
ピクッ
すっ…
さっきのは、
しなくてもいいって……。
むぅ…
あ…

あはは、ごめんごめん。
ふわ
え？
でもやっぱり
していたあが
それって、
ホントはそんなに大きかったの？


これは麻弥ちゃんに合わせて
大きくなったようにしてるだけだよ。
麻弥ちゃんにとっては本物だけど。
へぇ？
くちゅっ…
くっ
きゅ
んっ。
ず…っ
ぎゅっ


あともう少し。
これで……
奥まで……。
ビクッ
ぐっ…
んあっ！！
ビッ！
ビクッ！
ぎゃっ

ご、ごめんね、
今の痛かった？
ビキ
え……？
ううん違うの、
ちょっとびっくりしただけ。
大丈夫。
え？
続けていいよ

じ、じゃあ続けるよ。
様子をみながらね
ぐっ…
大丈夫そうか。
じゃあ、普通に……。
ん、あ…。
ぽふっ…
ぽふっ…
きゅ…

ぽふっ
ぽふっ
くちゅっ
くちゅっ
あっ…あ…。
う～ん、
やっぱりイエリンとは
感じ方が違うのか。
ぽふっ
ぽふっ
ん、あ……はぁっ、
あ……あ。
ぽふっ
ぽふっ
くちゅっ
ゆちゅっ
あ、あっ。
んあ……んっ。
もうちょっと
こっちかな？
ぽふ
ぽふ
あ……。
ぞくっ
ぽふっ
ぽふっ
ゆちゅっ
くちゅっ

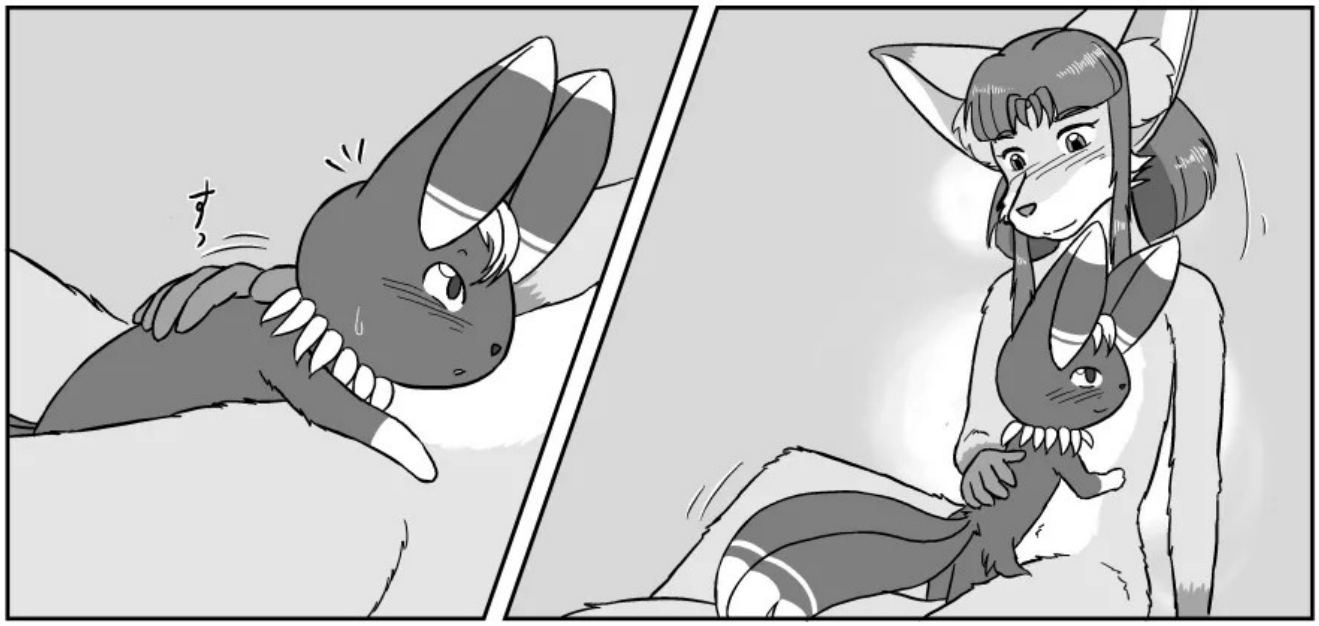
ま、麻弥ちゃん、
もう少し脚を……。
え？
こう……？
うん。
ふあっ！
ぐっ
ぽふっ！

あっ、ああっ！
んっ、あっ、あ！
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ポフッ
ポフッ

あ、はぁ…　はぁ、はぁ…
んっ、あ、はぁ、はぁ…
んっ！
ズッ！

ふあ、あ……　んっ…　あ…
あぁ……っ
ぴくっぴく
ぐぐぐ
ぴくっぴく
ビュッ！
ビュッビュ…
ズガ

ハァ…
ハァ…
ハァ…
ハァ…


すっ

ねぇ、イエリンちゃんより
大きな身体だから
大変じゃなかった？
平気だよ。
君の方こそ
大丈夫だった？
ちょっと
つかれたけど

うん、大丈夫。
それに、エルノくんがちゃんと
してくれたから、
今度はうまくいったかも。
ボクが？
そういうものなの？
きもち
よかったし

うん、だってお腹の……。
あっ！？
え？

ほら……ね。
わぁ！
もう
こんなに♡
タマグ
できた～♡

え……？
急に、どうしたの？
あ、いや。
なんでもないよ。
ただ、ちょっと……
どうしたの？
やっぱりここ？
えと、場所は…
あ、あの……。
産むの手伝って。
ふえっ！？
ね、お願い。
で、でもさ。
……ん？
ベッドからタマゴが
落っこちたりしないように
見ててくれるだけでも
いいから、お願い。
わ、わ！
手伝う、手伝うよ。
すぐ布敷くから待って。
もぞもぞ
出てくる
布敷いた、
準備できたよ。
もう開こえてない？
う、うう……。
う…う、
こんな痛い
…の？
ん……う、
い……痛……っ。

う……あ……、
んっ……ああっ！
もうすぐ、
もうすぐだよ。
ぐぐ…
ずにゅ…
ぷるぷる
ぽたっ
ぽた
ぅあ！
ぴくん
おおっと。
ぬちゃ
ぽたぽた
大丈夫……かな？
うん、大丈夫みたいだ。
大きいタマゴ…
色もきれいだ
すっ
ほら、麻弥ちゃん、
きれいなタマゴが。
ホントだ、
よかったぁ。
ねぇ、お願いが
あるんだけど。
お願い？
うん、
あのね……
え…？

つかれたあ…
ふぅ
あ、イエリ……
ぽふっ
……ン？
キュッ
え？
なに？
ニャヴヴヴ…
にゃあ…
ヒイイ…
あれ？
イエリンちゃん
どうしたんだろ。
ニャアァヴゥ！
ニャアオ、ニャア！
ニャオ！
ニャア。
ニャオ、ニャ、
ニャウ。
キュゥ

ニャオニャ、ニャアウ。
ニャヴウ、ニャオ！ニャ……
あ…
ねえ、麻弥ちゃん。もしかしてエルノが無理やり２個目を……。
ん？
ちょっと、イエリン。
ちがうって
ああ、それ？まだ預かってたはずだからそれも産みたいなって、私が……。
え、ホントだったの……。そりゃまあ嬉しいけど、無理しなくても一個でよかったのに。
まあ、今度のは許してあげるけど、なんであの子の言う事に乗っかっちゃうのよ。
あはは……。
じゃあ、帰るわね。
え、もう？
ちょっと長く居ちゃったし、もうしばらくしたら朝だから。
麻弥ちゃん、タマゴありがとう。大事に育てるからね。
フォウウ…
じゃあね、麻弥ちゃん。元気でね。
うん。イエリンちゃんたちも元気でね。

あ、麻弥ちゃん。
起きたら、身体
ちゃんと治ってるからね。
ん……。
ありが……と……。
え？
あれ？
ん？
わあ…
なんであんな…
そ、そうだよね。
やっぱり夢……だよね。
でも、すごく
ホントの事っぽかったし。
お腹の中もなんだか
あの時の感じが
残ってるような……。
あ……。
もしかして。
……なわけないか。
別になんともないみたいだよねぇ。
すっ
ん？
何かついてる。

この色……。
あ、こっちにもある。
やっぱりホントだったんだ。
これって、もしかしてわざと？
それとも気にしてない？
こんなのバレバレでしょ
わ～ぉ
あ…
SUN
10:00
え～っと。
美弥ちゃんとどこに
遊びに行くんだったっけ。
あ、そだ、
お部屋でちょっと
遊んでから、
公園へ行くんだった。
ん？
そういえば美弥ちゃんも
夢の中で……。
とりあえず
このビンで
いいか
聞いてみようかな。
お母さ～ん、
美弥ちゃんとこ行ってくるね。
ごはんは？
いらな～い。
Fin.